



# プリローダ

第 68 号  
(NPO 第18号)



【ПРИРОДА】プリローダ＝ロシア語で「自然」という意味をあらわす

発行：2019年10月1日

むさしの・多摩・ハバロフスク協会は、東京都武蔵野市で生まれた、「寒帯林保全」、「自然体験活動」、「国際交流」などを行う NPO 法人です。

## 緑の募金国際緑化交付金助成事業 2019 植林ボランティアツアー in ハバロフスク報告

期 間：2019年4月28日（日）～5月5日（日）

参加者：一般12名、学生3名、スタッフ3名

通 訳：オルロフ・ウラジミル コーディネーター：チェルニコワ・エレナ

運転手：チシェンコ・ビクトル サポーター：オルロフ・タチアナ

### 4月28日（日）

成田空港にて参加者全員が集まり、チェックイン。S7-6442便で18：50にハバロフスク着。日本との時差は1時間で約2時間半のフライト。空港にて、コーディネーターのチェルニコワさん、通訳のオルロフさん、その娘さんのターニャさんの出迎えを受ける。ビクトル運転手のマイクロバスで太平洋国立大学宿舎へ。大学の寮のような感じでさまざまな規模の居室が用意され、留学生や、ペット同行で長期滞在して研究する家族同伴者など多彩な利用者がいる。21時前だというのに、まだ明るい。2011年からサマータイムは廃止されたそうである。

### 4月29日（月）

8時、宿舎入り口に集合して近くのカフェへ。ビュッフェスタイルで好きなものを食べられる。宿舎滞在中の朝食はここになる。温かいスープやシチーはカウンター内の人が器によそってくれ、生クリームやスメタナなど好みのものをかけてくれる。スープだけでいいと言うと不思議そうな顔をされる。

午前中は市場を見学。食品から雑貨、日用品、生活用品まで、さまざまなものがワンフロアにひしめいている。庶民の手が届く価格なのか否かが気になるところ。

元人文大学が合併した太平洋国立大学東洋学部の教室で日本語学科の学生から簡単なロシア語会話のレクチャーを受け、当協会からは植林活動の概要をプレゼンして理解を深めてもらおうと数名の学生が追加で植林参加を申し出てくれた。学内の食堂で昼食を共にして交流を図る。

昼食後、戦没者慰霊碑と永遠の炎、ロシア正教のスパソ・プレオブラジェンスキー大聖堂を訪ねてから、極東ロシア軍歴史博物館へ。事前予約が必要で、13の展示ホールはさまざまな資料からなり、ジオラマで雰囲気も再現されていて見応えがある。構内には、大砲や戦車の実物が展示され、独ソ戦で使われたロケットランチャーや朝鮮戦争の時に使われていたミグ15戦闘機まで並んでいた。ロシア軍満州侵攻の展示もあったが、ガイドさんはほとんど説明しなかった。市内観光後、大学宿舎へ。



2009年に植えた小さな苗木（手前）が…



2019年には、こんな（○印）に大きくなりました！！

#### 4月30日(火)

朝食後、大学で開かれる環境セミナーに参加。本会会員で日本野鳥の会会員の池野進氏が野鳥保護の講演「越冬中のカモが引き起こす農業被害の実態解明」をされた。ロシアからはグリッグ・ビクトル先生と自然利用・環境学部の学生から「ハバロフスクの植物環境の紹介」の発表があったが、セミナーの途中、非常ベルが鳴って避難訓練が行われたため、早めに終了するというハプニングがあったが、構内に記念植樹をしてセミナー参加者たちと交流した。午後は、Voskhozhdenieという放課後児童教育施設を訪問。この施設には協会から環境絵本を寄贈している。廊下には子ども達の絵がずらりと展示されており、どれもレベルの高い力作ぞろいである。広いレッスンルームでお国柄のパレーをデモンストレーションしてくださる。見事なアンサンブルに、ツアーメンバーから拍手とハラショーの声が上がる。チェス盤の並んだ部屋もあって、トレーニングができる。我々のために材料を準備して待っていてくださり、簡単な作業でトラのペーパークラフト作りを楽しませていただいた。

その後、公園「パルク・プルディ」を散策して、夕食後、ハバロフスク駅へ向かう。コムソモリスク・ナ・アムール行きのシベリア鉄道の支線は21:02出発で、大きな車両が出発のアナウンスもなく、静かに動き出す。

#### 5月1日(水)

ムイルキ駅に5:16到着でバスに乗り換え、45分程でアムールスクに到着。市内のカフェで朝食後、郷土史博物館へ。アムールスク市の沿革がコンパクトに紹介されており、ハバロフスク市からは230kmほどアムール河の下流に位置し、大型のパルプ工場の従業員の町として1958年に建設された都市で、1973年に市に昇格している。周囲には針葉樹林が多く、製紙工場のほか、化学工場や製材工場もある。

バスで高台にある市民ホールのような施設に移動し、アムールスク市長も参加した環境講演会「緑の世界」に参加した。日本からは、安藤理事長と池野氏が発表を行い、ロシアからは植物園やボロン自然保護区の関係者・環境教育実践者らのさまざまな発表が行われた。

昼からメイデー記念音楽会を鑑賞して、昼食となる。その後、講演会発表者のブラゴヴェシチェンスク市植物園のアンナさんがハーブティーを披露して、効能等を解説して下さった。

ロシア科学アカデミー極東支部アムールスク植物園は小規模ではあるものの、温室も備わった本格的な施設で、青少年に対する環境保護の啓発活動に力を入れている。園内にはブーゲンビリアが咲き乱れ、コーヒーの木には実までなっていてびっくり。

その後、小高い丘にある、アムール河の望める市立公園で6年生チョウセンゴヨウの記念植樹をおこなった。植樹後、バスでコムソモリスク・ナ・アムールに移動し、レストランで夕食。コムソモリスク・ナ・アムールはアムール河下流の左岸に位置する港湾都市・工業都市で、ハバロフスク市からの距離は404km。ハバロフスク、ウラジオストクに次ぐ極東ロシア第3の都市で、市の創設は1932年と古い。市内には趣のある煉瓦造りの建物が立ち並んでいる。河岸に出てみると、2013年にあった洪水の影響が未だに残されていて修復の済んでいない場所も見受けられ、風が強く寒い。コムソモリスク駅に移動し、再びシベリア鉄道上の人となる。21:05出発。

#### 5月2日(木)

ハバロフスク駅に6:16到着。太平洋大学の宿舎に戻る。二晩離れていただけだが、我が家に戻ったような気分になる。朝食後、出発。安藤理事長らは、車で1時間ほどのヘフツィル地区の植林地を訪ねて、第2期1~6次の植樹場所を調査する。10年前の2009年に植えられた苗木は、大人の背よりもはるかに高く立派に成長していた(1ページの写真)。アムール市植物園長によれば、場所の特性、陽当たりや栄養の分布にもよるが、チョウセンゴヨウは最初の2~30年は成長がたいへん遅い。人の背丈を超えるくらいになると伸び始め、60年くらいで実をつけるようになるそうだ。この2009年の植林の際に大きな石の記念碑も協会が同時に設置したが、凍上現象で傾いていた。過酷な環境のなか、少しずつ大きくなる極東の樹木にエールを送りたくなる。

市内散策組は、目当てのプラチナアリーナが閉館していて、がっかりする団員もいたが、ショッピングセンターのフードコートに立ち寄ったり、アムール河に棲息する魚が飼育されている、手作り感満載の水族館(太平洋漁業海洋学研究所ハバロフスク支部付属「アムール河に生息する魚」)を見学などして、理事長達と合流、ハバロフスク植物園を見学する。都会の中と思えないくらいに規模で、様々な野鳥の楽園になっているようだ。その後、ロシア料理レストラン「ルースキー」で夕食。バスや路面電車などのグループに分かれて宿舎に戻る。

#### 5月3日(金)

朝食後、ネクラソフカの植林地に出発。地元営林署、太平洋国立大学の学生達と交流を深めながら、用意した苗木3000本を全て植樹する。この場所を「友好の森 VI」と定め、「ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃林地の造林事業」この事業は、日本国「緑の募金」交付金を活用し、ハバロフスク地方政府森林管理局およびロシア地方立国営特殊自治機関KHABSPETSKHOZと特定非営利活動法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会が協力して植林ボランティアの参加により実施されたものである。2019年5月03日」というロシア語と日本語で書かれたプレートを立て、アマゾンと並んで世界の肺と呼ばれるシベリア・ロシア極東の森に想いを馳せた。

ザダルマーで昼食後、今回の苗木を育成してくれた苗木工場を視察して、大ヘフツィル自然保護区博物館へ。豊かな自然と、保護区に棲息するさまざまな動植物が展示、解説されている。2013年に当協会が記念植樹をしたエゾヤマザクラもしっかり根付いており、30cmの苗木が2m以上に成長していた。

当協会が植林を続けているチョウセンゴヨウは、その実を食べることで小動物が増え、それを捕食するイノシシが増え、ひいては絶滅が危惧されるアムールトラの保護にもつながるのだ。

敷地内にはロシア伝統の民家も再現され、ペチカの上に寝そべったり、トナカイを象った木の板にペイントしたり、楽しい時を過ごした。

ハバロフスク市内にもどり、北公園を散策後、大学宿舎へもどって、翌日のインツーストホテルへの移動の準備をしりして、宿舎最後の夜を過ごす。

#### 5月4日(土)

朝食後、団員全員で市内にある平和慰霊公園を訪れてから、アムール河沿いの動物園へ。1998年の第1回植林地を視察する理事長らを見送る。その後、合流して昼食、ハバロフスク郷土史博物館へ向かう。地域の少数民族の暮らしが紹介されていたり、向かい合って立つ、アムールトラとヒグマの、迫力ある剥製を見学できる。市内を散策、「マクシム」スーパーマーケットで買い物後、最後の宿であるインツーストホテルに戻り、植林団の解散式を兼ねた夕食会。

#### 5月5日(日)

朝食後、バスで空港へ向かう。途中、日本人墓地を訪れ、冥福を祈る。この日は、ロシアの祖先を敬う日とかで、周辺の墓地にはたくさんの来訪者が見られた。

空港でロシア側のスタッフに別れを告げ、S7航空6441便で成田空港へ。

13:45到着。植林団のスケジュールを無事に終える。参加者の皆さん、おつかれさまでした。

(報告：内田彰)



太平洋国立大学に 2018 年に植えたエゾマツの様子



今年はチョウセンゴヨウを植えた



毎年恒例となった環境セミナー



アムールスク市長より記念品を頂く



環境講演会「緑の世界」で講演する池野さんとオルロフ通訳



アムールスク市営公園にての記念植樹



ネクラソフカ地区における植林作業の始まり



3 年生チョウセンゴヨウを 3000 本植えた



しっかり活着した 2018 年に記念植樹したアカマツ



改装された大ヘツシル自然保護区の博物館



お世話になった自然保護区のイリーナ副所長と



平和慰霊公苑に 2003 年頃に植えたアンズの木が  
花を咲かせていた！  
何もなかった公苑周りには、住宅が立ち並んでいる

# 平成30年度総会資料

2019年6月1日（土）午後3時から、武蔵境北口スイングビル10階スカイルームにおいて2019年度定期総会を開催いたし、すべての事案が承認されましたのでご報告いたします。

## 議案第1号

### 2018（平成30）年度 事業報告書

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

#### 1 事業の成果

植林事業では、外務省のロシアにおける日本年事業として承認され、ハバロフスク市制160周年の記念植樹も実施した。その関係でハバロフスク市より記念行事に招へいされ、視察事業を実施した。緑の少年団事業では、富士山麓にて日露の少年団が集まって充実した日々を送るコーディネートができた。また太平洋国立大学へ日本の学生を派遣する事業のコーディネートも無事実施することができた。

#### 2 事業の実施に関する事項

##### （1）特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【7,650】千円）

| 定款に記載された事業名                | 事業内容                                              | 日時             | 場所            | 従事者人数 | 受益対象者範囲                 | 受益対象者人数 | 事業費（千円） |
|----------------------------|---------------------------------------------------|----------------|---------------|-------|-------------------------|---------|---------|
| ロシア極東における寒帯林の保全と国際協力事業     | 植林ボランティアツアー事業として緑の基金国際緑化直接事業の補助を受けて、植林活動を行った。     | 2018.5.1～5.6   | ロシア極東ハバロフスク地方 | 4     | 東部地域に属する日本・ハバロフスク地方の人々  | 延べ100人  | 4,227   |
| その他この法人の目的達成に必要な事業         | 植林事業の協力関係にあるハバロフスク市より記念行事への招へいを受け植林地の視察事業として実施した。 | 2018.5.22～5.27 | ロシア極東ハバロフスク市  | 3     | 協会会員                    | 30人     | 399     |
| 子ども、青少年の自然環境教育、自然体験活動の支援事業 | 国土緑化推進機構の委託を受けて緑の少年団国際交流事業を行った。                   | 2018.7.31～8.7  | 静岡県富士山麓の村他    | 5     | ロシアおよび日本の緑の少年団          | 70人     | 1,965   |
| 子ども、青少年の自然環境教育、自然体験活動の支援事業 | 国土緑化推進機構の委託を受けて緑の少年団国際交流事業の報告書の作成を行った。            | 2018.8～12      | 協会事務所         | 3     | ロシアおよび日本の緑の少年団の関係者      | 130人    | 838     |
| 子ども、青少年の自然環境教育、自然体験活動の支援事業 | 植林事業の協力関係にある太の自然環境教育・自然体験活動の派遣をコーディネートした。         | 2018.9.11～9.16 | ロシア極東ハバロフスク市  | 3     | 東部地域に属する日本・ハバロフスク地方の大学生 | 30人     | 183     |
| その他この法人の目的達成に必要な事業         | 広報紙ブリーディングを発行して広く活動を紹介した。                         | 2018.12.10     |               | 3     | 協会会員他一般市民               | 500人    | 38      |

## 議案第4号

### 2019年度役員・顧問の選任について（案）

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会役員のうち、以下のものを該当役員とする。（任期は2年とする）

| 変更年月日<br>変更事項   | 役名   | （フリガナ）氏名    | 住所又は居所                                    |
|-----------------|------|-------------|-------------------------------------------|
| 2019年<br>7月9日再任 | 理事長  | アンドウ 栄美     | 東京都武蔵野市吉祥寺東町1丁目15番25号                     |
| 2019年<br>7月9日再任 | 副理事長 | カタジメ タツヤ    | 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2273番地30                    |
| 2019年<br>7月9日再任 | 副理事長 | タダキ ケイコ     | 東京都小金井市東町1丁目17番6号                         |
| 2019年<br>7月9日再任 | 理事   | ヨダ カズヤ      | 東京都府中市美好町1丁目11番地の2                        |
| 2019年<br>7月9日再任 | 理事   | タカハシ シンジロ   | 神奈川県座間市相模が丘3丁目5番37号                       |
| 2019年<br>7月9日再任 | 理事   | ナガタ ヒロユキ    | 東京都武蔵野市境南町5丁目1番20号                        |
| 2019年<br>7月9日再任 | 理事   | ヨシダス コウジ    | 東京都三鷹市新川1丁目14番11号                         |
| 2019年<br>7月9日再任 | 理事   | カシノ アサヒロ    | 東京都武蔵野市桜堤3丁目36番地15                        |
| 2019年<br>7月9日再任 | 理事   | ミヅウ カズマサ    | 東京都武蔵野市八幡町2丁目2番1号                         |
| 2019年<br>7月9日再任 | 理事   | ヤマモト セイイチロウ | 東京都西東京市向台町4丁目21番30号<br>ライオンズマンション小金井公園101 |
| 2019年<br>7月9日再任 | 理事   | ウチダ ヒロ      | 東京都港区台場1丁目3番2-707号                        |
| 2019年<br>7月9日再任 | 監事   | タカハシ シンジロ   | 東京都町田市鶴川2丁目15番地の105                       |
| 2019年<br>7月9日再任 | 監事   | ヨシダフミ       | 東京都武蔵野市境5丁目2番23号                          |

## 議案第2号

### 2018（平成30）年度 活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

（単位：円）

| 科 目                     | 金 額       | 小計・合計     |
|-------------------------|-----------|-----------|
| (A) 経 常 収 益             |           |           |
| 1 受取会費                  |           | 243,000   |
| 正会員受取会費                 | 93,000    |           |
| 賛助会員受取会費                | 150,000   |           |
| 2 受取寄附金                 | 7,000     | 7,000     |
| 受取寄附金                   |           |           |
| 施設等受入評価益                |           |           |
| 3 受取助成金等                | 2,400,000 | 2,400,000 |
| 受取補助金(植林事業)             |           |           |
| 4 事業収益                  |           | 5,195,135 |
| 植林事業収益                  | 1,958,742 |           |
| 160周年派遣事業収益             | 240,000   |           |
| 緑の少年団事業収益               | 1,966,000 |           |
| 緑の少年団報告書事業収益            | 864,540   |           |
| 大学生交流事業収益               | 165,853   |           |
| 5 その他の収益                |           | 5         |
| 受取利息                    | 5         |           |
| 経 常 収 益 計               |           | 7,845,140 |
| (B) 経 常 費 用             |           |           |
| 1 事業費                   |           | 765,000   |
| (1) 人件費                 |           |           |
| 給料手当                    | 0         |           |
| 役員報酬                    | 0         |           |
| 作業日当                    | 765,000   |           |
| (2) その他経費               |           | 6,885,237 |
| 植林費                     | 1,576,744 |           |
| 旅費交通費                   | 1,892,855 |           |
| 宿泊費                     | 311,178   |           |
| 食費                      | 427,590   |           |
| 通信運搬費                   | 85,217    |           |
| 通訳翻訳費                   | 696,472   |           |
| 消耗品費                    | 441,288   |           |
| 印刷製本費                   | 761,284   |           |
| 会議費                     | 5,009     |           |
| 謝金                      | 426,085   |           |
| 支払手数料                   | 8,592     |           |
| 施設利用料                   | 212,365   |           |
| 保険料                     | 39,958    |           |
| 公租公課                    | 600       |           |
| 事業費計                    |           | 7,650,237 |
| 2 管理費                   |           |           |
| (1) 人件費                 |           | 0         |
| 役員報酬                    | 0         |           |
| 給料手当                    | 0         |           |
| (2) その他経費               |           | 412,143   |
| 旅費交通費                   | 13,122    |           |
| 通信運搬費                   | 49,453    |           |
| 接待交際費                   | 52,164    |           |
| 消耗品費                    | 30,424    |           |
| 印刷製本費                   | 53,233    |           |
| 会議費                     | 3,528     |           |
| 支払手数料                   | 93,819    |           |
| 広告費                     | 116,400   |           |
| 管理費計                    |           | 412,143   |
| 経 常 費 用 計               |           | 8,062,380 |
| 当期経常増減額【(A) - (B)】・・・①  |           | -217,240  |
| (C) 経 常 外 収 益           |           |           |
| 固定資産売却益                 | 0         |           |
| 過年度損益修正益                | 0         |           |
| 経 常 外 収 益 計             |           | 0         |
| (D) 経 常 外 費 用           |           |           |
| 固定資産売却損                 | 0         |           |
| 災害損失                    | 0         |           |
| 過年度損益修正損                | 0         |           |
| 経 常 外 費 用 計             |           | 0         |
| 当期経常外増減額【(C) - (D)】・・・② |           | 0         |
| 税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③    |           | -217,240  |
| 法人税、住民税及び事業税・・・④        |           | 0         |
| 前期繰越正味財産額・・・⑤           |           | 2,259,648 |
| 次期繰越正味財産額 ③-④+⑤         |           | 2,042,408 |

### 2018（平成30）年度監査報告書

2018年度「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」

収入支出決算書および事務執行については、2019年5月25日に監査に付され、

帳簿・領収書ならびに関係書類を照会した結果、決算の計数は正確なものであり、また、事務は適正に執行されていることを認めます。

2019年5月25日

監事 落合 恒

監事 高橋 善数

議案第5号

2019年度事業計画(案)

2019年4月1日から 2020年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

1 事業実施の方針

植林活動においては、あたらしく友好の森VIとしてネクラソフカ地区への実施を行い、地球温暖化防止および溶存鉄生成のための寒帯林保全に努める。国土緑化推進機構の委託事業は2019年と2020年はオリンピックの関係で休止となる。そこで、7月下旬より協会主催行事として緑と花の視察事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【7, 250】千円)

| 事業名                     | 事業内容                            | 実施日時               | 実施場所          | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 事業費の予定額(千円) |
|-------------------------|---------------------------------|--------------------|---------------|--------|--------------|-------------|
| 2019植林ボランティアツアー事業       | 緑の募金国際緑化直接事業の補助を受けて、植林活動を行う。    | 2019.4.28～2019.5.5 | ロシア極東ハバロフスク地方 | 3      | 会員ほか広く延べ150  | 4600        |
| ハバロフスク・サハリン 緑と花の視察ツアー事業 | 夏季に主催事業を行い、ハバロフスクに加え、サハリンも訪問する。 | 2019.7.30～2019.8.4 | ハバロフスクサハリン    | 2      | 会員ほか広く10     | 2600        |
| プリローダ(広報紙)発行事業          | 広報紙を発行して広く活動を紹介する。              | 年間1回               |               | 3      | 会員ほか広く500    | 50          |



書式第15号(法第28条関係)

2018(平成30)年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

| 科                         | 目           | 金額        | 小計・合計     |
|---------------------------|-------------|-----------|-----------|
| 【A】資産の部                   |             |           |           |
| 1                         | 流動資産        |           |           |
|                           | 現金          | 1,451,101 |           |
|                           | 三菱UFJ銀行     | 1,945,870 |           |
|                           | ゆうちょ銀行      | 11,927    |           |
|                           | 前払植林事業費     | 2,264,110 |           |
|                           | 流動資産合計・・・①  |           | 5,673,008 |
| 2                         | 固定資産        |           |           |
|                           | (1)有形固定資産   |           | 0         |
|                           | 車両運搬具       | 0         |           |
|                           | 什器備品        | 0         |           |
|                           | (2)無形固定資産   |           | 0         |
|                           | ソフトウェア      | 0         |           |
|                           | 借地権         | 0         |           |
|                           | (3)投資その他の資産 |           | 0         |
|                           | 敷金          | 0         |           |
|                           | 長期貸付金       | 0         |           |
|                           | 固定資産合計・・・②  |           | 0         |
| 【A】資産合計 ①+②               |             |           | 5,673,008 |
| 【B-1】負債の部                 |             |           |           |
| 1                         | 流動負債        |           |           |
|                           | 前受会費        | 96,000    |           |
|                           | 前受植林事業収入    | 2,534,600 |           |
|                           | 前受植林補助金収入   | 1,000,000 |           |
|                           | 流動負債合計・・・③  |           | 3,630,600 |
| 2                         | 固定負債        |           |           |
|                           | 長期借入金       | 0         |           |
|                           | 退職給付引当金     | 0         |           |
|                           | 固定負債合計・・・④  |           | 0         |
| 負債合計 ③+④                  |             |           | 3,630,600 |
| 【B-2】正味財産の部               |             |           |           |
|                           | 前期繰越正味財産額   | 2,259,648 |           |
|                           | 当期正味財産増減額   | -217,240  |           |
| 正味財産合計                    |             |           | 2,042,408 |
| 【B】負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】 |             |           | 5,673,008 |

議案第6号

2019年度 活動計画書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

(単位:円)

| 科                    | 目             | 金額        | 小計・合計     |
|----------------------|---------------|-----------|-----------|
| 【A】経常収益              |               |           |           |
| 1                    | 受取会費          |           | 200,000   |
|                      | 正会員受取会費       | 100,000   |           |
|                      | 賛助会員受取会費      | 100,000   |           |
| 2                    | 受取寄附金         |           | 10,000    |
|                      | 受取寄附金         | 10,000    |           |
|                      | 施設等受入評価益      |           |           |
| 3                    | 受取助成金等        |           | 2,000,000 |
|                      | 受取補助金(植林事業)   | 2,000,000 |           |
| 4                    | 事業収益          |           | 5,200,000 |
|                      | 植林事業収益        | 2,600,000 |           |
|                      | 緑と花の視察ツアー事業収益 | 2,600,000 |           |
|                      | プリローダ事業収益     | 0         |           |
| 5                    | その他の収益        |           | 0         |
|                      | 受取利息          | 0         |           |
| 経常収益計                |               |           | 7,410,000 |
| 【B】経常費用              |               |           |           |
| 1                    | 事業費           |           |           |
|                      | (1)人件費        |           | 0         |
|                      | 給料手当          | 0         |           |
|                      | 役員報酬          | 0         |           |
|                      | 作業日当          | 0         |           |
|                      | (2)その他経費      |           | 7,250,000 |
|                      | 植林費           | 1,200,000 |           |
|                      | 会場費           | 10,000    |           |
|                      | 旅費交通費         | 3,620,000 |           |
|                      | 宿泊費           | 600,000   |           |
|                      | 食費            | 650,000   |           |
|                      | 通信運搬費         | 100,000   |           |
|                      | 通訳翻訳費         | 300,000   |           |
|                      | 消耗品費          | 80,000    |           |
|                      | 印刷製本費         | 100,000   |           |
|                      | 接待交際費         | 10,000    |           |
|                      | 会議費           | 10,000    |           |
|                      | 謝金            | 200,000   |           |
|                      | 支払手数料         | 70,000    |           |
|                      | 施設利用料         | 50,000    |           |
|                      | 保険料           | 250,000   |           |
|                      | 公租公課          | 0         |           |
| 事業費計                 |               |           | 7,250,000 |
| 2                    | 管理費           |           |           |
|                      | (1)人件費        |           | 0         |
|                      | 役員報酬          | 0         |           |
|                      | 給料手当          | 0         |           |
|                      | (2)その他経費      |           | 160,000   |
|                      | 旅費交通費         | 10,000    |           |
|                      | 通信運搬費         | 40,000    |           |
|                      | 接待交際費         | 10,000    |           |
|                      | 消耗品費          | 5,000     |           |
|                      | 印刷製本費         | 30,000    |           |
|                      | 会議費           | 10,000    |           |
|                      | 支払手数料         | 55,000    |           |
|                      | 広告費           | 0         |           |
|                      | 減価償却費         | 0         |           |
| 管理費計                 |               |           | 160,000   |
| 経常費用計                |               |           | 7,410,000 |
| 当期経常増減額 【A】-【B】・・・①  |               |           | 0         |
| 【C】経常外収益             |               |           |           |
|                      | 固定資産売却益       | 0         |           |
|                      | 過年度損益修正益      | 0         |           |
| 経常外収益計               |               |           | 0         |
| 【D】経常外費用             |               |           |           |
|                      | 固定資産売却損       | 0         |           |
|                      | 災害損失          | 0         |           |
|                      | 過年度損益修正損      | 0         |           |
| 経常外費用計               |               |           | 0         |
| 当期経常外増減額 【C】-【D】・・・② |               |           | 0         |
| 税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③ |               |           | 0         |
| 法人税、住民税及び事業税・・・④     |               |           | 0         |
| 前期繰越正味財産額・・・⑤        |               |           | 2,042,408 |
| 次期繰越正味財産額 ③-④+⑤      |               |           | 2,042,408 |

特定非営利活動法人

むさしの・多摩・ハバロフスク協会 顧問名簿

2019年度の「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」の顧問は、下記のとおりである。

2019年6月1日現在

|    | 氏名   | 就任日        |
|----|------|------------|
| 顧問 | 秋山智英 | 平成21年4月18日 |
| 顧問 | 土屋正忠 | 平成21年4月18日 |
| 顧問 | 稲葉孝彦 | 平成21年4月18日 |
| 顧問 | 中野哲夫 | 平成21年4月18日 |
| 顧問 | 長島昭  | 平成23年6月26日 |
| 顧問 | 田村俊介 | 平成25年6月20日 |

※ 議案第3号は役員報酬の有無を示す資料ですが、全員が報酬を受けておらず、議案第4号とほぼ同じ様式なので省略しました。

# 2019 ハバロフスク・サハリン緑と花の視察ツアー報告

期 間：2019年7月30日（火）～8月4日（日） 参加者：11名 スタッフ2名  
通 訳：オルロフ・ウラジミール、ストルビコワ・ナタリヤ、ラズモロゴワ・エレナ  
運転手：チシェンコ・ビクトル ダーチャ訪問：チェルニコワ・エレナ、クリチニコワ・タマラ

NPO法人になって初めて一般の夏の訪問団を「2019 ハバロフスク・サハリン 緑と花の視察ツアー」と称して実施した。

**7月30日（火）** 14：35発S7航空6442便にてハバロフスクに向かう予定であったが、現地空港の霧のために珍しく到着便が遅れ、結局1時間ほどの遅延で出発した。この際、普段であれば滑走路上で長いときは20分以上も待たされるのであるが、この日は優先されたようで直ぐに飛び立ったのでハバロフスク到着は、ほぼ予定通り18：30を少し

過ぎたくらいに到着したので、空の上では相当飛ばしたのであろう。オルロフ通訳・ナタリヤ通訳・ビクトル運転手に出迎えていただき、日程上帰りには寄れないため、まずは日本人墓地を参拝してからインツェリストホテルに向かった。

**7月31日（水）** 予定していたアムール河遊覧が午後出発となったので、エレナ観光通訳（オルロフ通訳の教え子）にも同行して戴き、小雨の中であったが平和慰霊公苑から市内観光を始める。ここには、1995年にシベリア抑留者の慰霊のためにモニュメントが建立されており、山崎豊子作「不毛地帯」の主人公のモデルの一人ともいわれる瀬島龍三の揮毫もある。

当協会では、この公苑にチョウセンゴヨウ・クルミ・アンズ・シラカバ等220本以上の植林を2003～2006年に行い、花を咲かせている木もある。2012年には、在ハバロフスク総領事館の要望もありモニュメントの周りに当協会が日本からエゾヤマザクラ50本を持参して記念植樹を行ったが、テレビ放映の影響もあり、ハバロフスク市民のダーチャか

庭に行ってしまったようで、残木は全くなかった。太平洋国立大学構内と大ヘツシル自然保護区内のエゾヤマザクラの苗木は順調に育っている。公苑内は5月の頃と違い、緑が青々と繁り手入れの行き届いた花々にも囲まれていた。中央市場・レーニン広場・スパソ・プレオブラジェンスキー大聖堂・栄光広場などを回り、昼食後に遊覧船に乗り込んだ。曇天ではあるが時折太陽も顔を出す中、アムール大橋をくぐる1時間ほどの遊覧を楽しんだ。

下船後は、1894年に建立されたハバロフスク地方グレデコフ記念郷土誌博物館を見学。夕食はレストラン「ルースキー」でキエフ風カツレツや壺焼きペリメリなどのロシア料理を堪能し、大型スーパー「サンベリー」での買い物も楽しんだ。



2003年に小泉首相も訪問した平和慰霊公苑



遊覧船は12時から23時まで運行している



戦争犠牲者慰霊碑前で

**8月1日（木）** 朝食を早めにとり、8：30にはホテルを出発する。ビクトル運転手の案内でハス池に向かったが、その場所は野草の宝庫でもあった。前日に用意した長靴に履き替えて泥道を花々の写真を撮りながら進むと池いっぱい広がるピンクのハスの花が出迎えてくれた。

次に2017・2018年のシカチ・アリヤン地区植林地に向かった。ここには、3000本づつ合計6000本の3年生のチョウセンゴヨウの苗木が植えられている。夏草に覆われた沼地を進むと小さな苗木がしっかりと活着していた。チョウセンゴヨウは日陰に強いうえに、夏草は熱い日差しを遮り、コンディションとしてはベストであるという。

一緒に植林作業に協力してくれている先住少数民族ナナイ人の村であるシカチ・アリヤンに昼頃到着する。子どもたちの民族舞踊を観劇して、最後にツアー参加者も一緒に踊りの輪に入った。地下の郷土博物館を見学し、ナナイ人の家庭料理のランチを頂き、河岸の岩絵（古代岩石画）現場に向かいたかったが、今年は2013年の洪水に匹敵するほどアムール河の水が増量しており、近づくことが出来な

かった。途中、フセヴォロド P. シソーエフ（作家・探検家・狩猟学者・地理学者等の多彩な顔を持つ児童動物作家）に因んで名付けられたプリアムールスキー動物園に寄った。アムールトラやシロクマに加え、ライオンが増えていたことには驚いた。

夕方からは、植林ツアーのコーディネートをお願いしているエレナ・チェルニコワさんのダーチャを訪問。日本と同じで局所的集中豪雨も見られ、所々に水溜まりがあったので増水しているアムール河の中州にあるダーチャまで辿り着けるだろうかと心配したが、ビクトル運転手の巧みな技術で乗り越えて到着した。

花盛りのダーチャにはビーツやディル（ウクロープ）などの料理材料も栽培されており、エレナさんに加え、お姉さんのタマラさんもピロシキやサラダ、ソーセージ類やじゃがいもの手料理で迎えて下さった。シャンパンや酒好きを唸らす珍しいお酒（シビッテルと呼ばれる薬用酒）もあり、堪能した。ホテルに帰る途中には大きな虹やアムール河に沈む大きな夕日もみるのができた。





ビクトル運転手が案内してくれたハス池



2018年の植林地 夏草で苗木が保護されている



ビーツやディルも栽培されている



二ノ村長（前列右端）や子ども達と記念写真



花々が咲き乱れるダーチャ



8月2日（金） 8：10発ロシア国内便(SU-5626)でナタリヤ通訳に同行して載きユジノサハリンスクへ。1時間の時差があり10：45だ。つまり日本（8：45）からは2時間の時差があることになる。真つすぐ総領事館に向かい、堀川敦史専門調査員のお話を伺う。加藤登紀子関係者から「100万本のバラ」に因んで寄贈された美しいバラが総領事館の庭園に咲き誇っていた。平野隆一総領事（当時）とは「山の空気展望台」で北海道との児童交流のイベントの最中にご挨拶をすることができた。昼食は韓国料理店に案内される。サハリンには韓国人が多く、サハリンの海産物を韓国料理にアレンジしていてお勧めだという。確かにグツグツと煮立った海鮮スープにはタラやホタテにエビ類がふんだんに使われており絶品だった。

次にサハリン日本センターに向かったが、ガイドが移転のチェックをしていなかったようで1時間遅れで到着する。遅れたにも関わらず鏡芳和所長は快く受け入れて下さり、サハリンの様子をいろいろとお話下さった。日本では高山植物として珍重されているものが、サハリンでは雑草のよ

うに街中で咲いていること。20年前はオホーツクの海辺に漁師のお母さんがミカン箱の上に無造作に生きた毛ガニやタラバガニを安い値段で売っていたが、石油が取り出して生活が豊かになり、ロシアの中でも格別消費物価が高い地域になってしまったとのこと。サハリン州立郷土博物館には、日本の統治時代の展示物や移築された奉安殿（戦前に日本各地の小学校にあった、天皇と皇后の写真（御真影）と教育勅語を納めていた建物）や大砲・戦車も見どころであると伺った。常設展示では、この地域の先住民であるニブヒ人の展示や日本人が住んでいた時代の歴史に関する資料も数多く見られた。

スイス製の最新型の Gondola で、市街地の東外れにある標高600mの高台「山の空気展望台」に上がると碁盤の目のような街並みが一望できた。夕食は宿舎であるパシフィックプラザホテルで、典型的なロシア料理であるビーフストロゴノフやボルシチを頂く。デザートはプリヌイ（クレープ）についてきたピンク色のハチミツは、ラズベリー入りで美味だった。



総領事館の庭には 100 万本のバラ計画満開



日本樺太庁博物館がサハリン州立郷土博物館になっている



サハリン日本センター 鏡所長



頑丈な耐火耐震構造の奉安殿



「山の空気展望台」にて



車窓から見たサハリンの教会

**8月3日(土)** 9時にホテルを出発して、オホーツク海に面したオホーツクエの浜辺に向かう。途中、トゥナイチャ湖畔を散策するが、短い夏を満喫するかのようには海水浴を楽しむ人々でいっぱいだった。浜辺の散策ではハマナスが咲き乱れていたが、日本では見たこともない草花もあり、植物専門家も珍しいと大喜びだった。

極めつけは、昼食のバイキング。イクラと各種のエビのオードブル、ホタテや牡蠣のお刺身、サクラマスの石狩鍋風、大きな茹で立てタラバガニに果物まであり満腹となっ

た。食事のテントの横を、浜辺で放牧されていた牛が十数頭移動していったのには驚かされた。シェフのアンドレイさんは、ユジノサハリンスクで日本料理店を営む宮西豊さんの手ほどきを受けたそう。夕食はその宮西さんの店「ふる里」へ行き、各々好きな日本食を注文したが、茹で立てタラバガニに満足して、ざるそばで済ませるメンバーもいた。市場での買い物では、こぞって生鮭の大きな半身を真空パックにしてもらっていた。



日本包丁を使いこなすアンドレイさん



茹で立てタラバガニは絶品！



3キロ超のタラバガニ ホタテや牡蠣も大きいこと



海岸で放牧されていた牛のご帰宅



日本では見たことも無い野草



海岸沿いなのにハイマツ（日本では高山植物）が群生している

**8月4日(日)** 6時過ぎにホテルの朝食をお弁当にして貰い、ホムトヴォ空港に向かう。8:20発SU-5621便はボンバルディア製で、プロペラの下に車輪がついている。予定通り9:00にはハバロフスク空港に到着して、帰国便には充分間に合う時間だったのでひと安心する。ビクトル運転手が大きなスーツケースを預かってくれたので、マイクロバスで国内線から国際線に送って戴き、11:55発のS7-6441便で無事に成田に到着した。

(報告：安藤栄美)



お世話になったナタリア通訳



飛び立つと車輪が一瞬にしてプロペラの後ろに収まった

## プリローダ 第68号

発行日 平成31年10月1日  
 発行 NPO法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会  
 住所 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-15-25  
 TEL/FAX 0422-23-5351  
 E-mail mail@mtxa.org  
 URL http://mtxa.org/  
 発行人 安藤 栄美  
 編集 田崎 桂子  
 広報委員 依田和也、長村康司、永田秀樹、木崎 剛、落合 恒、  
 内田 央、内田 周、内田 彰  
 印刷 巧芸印刷(株)

## 編集後記

令和を迎えた2019年度ですが、夏の緑の少年団国際交流事業はオリンピックの影響で2年間お休みとなりました。

大学生交流事業は、来年前半の実施となりそうです。そのためNPO法人以前に実施していた夏の交流団を復活させ、サハリンにまで足を延ばしました。

2020年の植林ボランティアツアーでは、アムール州の州都ブラゴヴェシチェンスク市を訪問する予定です。みなさま、乞うご期待を！